

- 特別師弟対談 大嶋雅盛(ミキハウス・四天王寺学園監督)・平野早矢香(ミキハウスコーチ)……[2]
- カラー大会報道 第86回全日本大学総合選手権大会(団体の部)……[6]
- カラー大会報道 第29回全国ラージボール大会……[10]
- 大会報道 第86回全日本大学総合選手権大会(団体の部)……[20]
- 大会報道 第29回全国ラージボール大会……[22]
- 大会報道 第35回全日本クラブ選手権大会……[24]
- 記録 インターハイ各都道府県予選記録……[26]
- 記録 高校各地区ブロック大会記録……[31]
- 日本の肖像 石井俊昭(千葉銀行顧問・早稲田大学卓球部OB)……[34]
- 「私の指導論」 真田浩二(愛工大附属中学校 監督)……[36]
- 練習のヒント 織部幸治(ITS三鷹代表)……[38]
- チャンピオンズテクニク 河野正和(前男子JNT監督)……[40]
- トレーニングFF 田中礼人(男子NT専任コーチ)……[42]
- ラージボール技術 内田康裕(ニッタク・大阪営業所)……[44]
- カラー大会報道 第35回全日本クラブ選手権大会……[60]
- 海外情報……[63]
- トピックス 第31回オリンピック競技・リオデジャネイロパラリンピック大会 社行会……[64]
- 「more Happy more Nittaku」 解説：新井卓将・新井祐将……[66]
- 頑張ろう東日本 新沼興隆(大船渡市卓球協会会長・他)……[68]

第5チャンネル……[46]

ピンポン東西南北……[47]

各地レポート……[48]

各地区ラージ結果……[56]

みんなのコーナー……[58]

編集室……[58]

Message

「エースは必ずやってくれる」そう思える瞬間だった。

サッカーのEURO2016はポルトガルが涙の初優勝で閉幕した。

ポルトガルには絶対的エースC・ロナウドがいる。予選、決勝トーナメントでは再三のチャンスをフイにし、メディアから叩かれた。しかし、準決勝での得点。そして決勝では負傷交代。しかし最後に優勝してくれた。

このシーンは2016年クアラルンプールで行われた世界選手権団体戦と重なった。

男子準決勝。日本対イングランド戦。4番の水谷選手は追い詰められていた。

コートサイドで撮影していた私を含めたメディアの人も「嫌な雰囲気」を感じていた。国を背負った戦い。逃げ出しなくなる状況だったに違いない。しかし最後は水谷が大逆転。会場中が沸いた……。

スポーツは感動を生む。一流のアスリートは一般人を楽ませる義務があると思う。また、エース、スーパースターであるからこそ、ピンチの場面、チャンスの場面が回ってくる。

そういった場面になっても、逃げださず、挑戦できるからこそ、感動的な結末が待っている。Challenge is my life. (温)



表紙
特別対談を行った大嶋雅盛
(ミキハウス・四天王寺学園監督/左)と平野早矢香
(ミキハウスコーチ)
撮影：高野亮